

ザンビア

主要データ

国名〔英名〕	ザンビア共和国〔Republic of Zambia〕
面積(km ²)	752,618
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	11.9
人口密度(人/km ²)	15.8
GDP(百万US\$)	14,654
一人当りGDP(US\$)	1,248
一人当り銅使用量(kg/人)	1.8
主要鉱産物：鉱石(千t)	銅(595.0千t)
主要鉱産物：地金(千t)	銅(604.7千t)、鉛(0.4千t)、コバルト(3,841t)
鉱業管轄官庁	Ministry of Mines & Minerals Development
鉱業関連政府機関	Geological Survey Dept, Ministry of Environment and Natural Resources, Ministry of Commerce, Trade, and Industry
鉱業法	2008年鉱山・鉱物開発法(Mines and Minerals Development Act, 2008)
ロイヤルティ	有。2008年4月に鉱産物価格の0.6%から3%へ変更。
外資法	有。(ザンビア開発庁：Zambia Development Agency：ZDA)
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	「The Environmental protection and Pollution Control Act(環境保護及び汚染管理法。1990年法第12号)」、「The Mines and Minerals (Environmental) Regulations(鉱業・鉱物(環境)規制。1997年)」及び「The Environmental Protection and Pollution Control (Environmental Impact Assessment) Regulations(環境保護・汚染管理(環境影響評価)規則。1997年)」
鉱業公社	ZCCM(Zambia Consolidated Copper Mines)など民営化された公社が存在。
鉱業活動中の民間企業	First Quantum Minerals社(加)、Glencore社(スイス)等
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者の雇用を守るため、大統領が休止鉱山の一時国有化検討を発表。(後に、鉱山大臣が国有化については否定) ・鉱山の政府保有権益を最大35%まで増加することを検討。
2008年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・2008年鉱山・鉱物開発法(Mines and Minerals Development Act, 2008)の制定(施行2009年4月) ・ロイヤルティ率の変更(0.6→3%)(2008年4月) ・Chambishi製錬所の休止(2008年12月)

1. 鉱業一般概況

2007年と2008年前半の銅価格の高騰及び銅やコバルトの増産を背景にザンビア経済は成長した。また、同国の外貨収入の80%以上をこれら鉱産物の輸出に依存している。

2008年の銅の生産量は前年の550千tから595千tと増加したものの、2008年4月には、銅価格の高騰時に検討されていた各種税制(ロ

イヤルティ率の変更(0.6→3%)、法人税率の改正(25→30%)、最大75%の超過取得税の導入が実施され、銅生産企業の収益に大きな影響を及ぼしており、今後の生産への影響が懸念されている。

2008年後半から始まった世界的な景気後退により、既存鉱山の拡張計画や新規鉱山開発は、資金繰りに窮し、軒並み停止や中止に追い込ま

れた。また、銅価格の下落により、2008年11月頃より割高な生産コストの製錬所、銅鉱山が休止、閉山に追い込まれ、ザンビア最大のコバルト生産量のCambishi製錬所が休止、Nkana銅鉱山及びMufulira銅鉱山の閉鎖が決定するなど鉱業をめぐる状況は、悪化している。

また、鉱山や製錬所の休止や廃止により、鉱業関係労働者の解雇がはじまり、大統領が雇用を守るため休止鉱山の一時国有化の検討(後に鉱山大臣が国有化を否定)や、鉱山権益の政府持分を35%に増加する等の検討を行っているが、根本的な解決にはならず、2009年5月には、ザンビアでの鉱業関係の失業者は13万人となり、ザンビアの全労働者の26%が失業したと報じられている。

銅以外では、既に大規模なウラン鉱床が発見されており、多くの外資企業がウラン探鉱を行っている。これまで、ウランの採掘に関する規則がなかったため、ウラン採掘権の認可がされていなかったが、2009年5月にウラン採掘に関する規則が制定され、ウラン採掘が可能となった。これにより、銅、コバルトのほか、ウランも生産されることになる。

一方、世界的な景気後退の中でも、中国企業による投資は活発に行われており、2009年7月にはZhonghui Mining Groupがザンビア政府と36億US\$の鉱業投資契約を締結し、また、金川集団会社がザンビアMunaliニッケルプロジェクトを所有するAlbidonへの増資協議を行うなど、中国企業が権益確保に力を入れている。

2. 鉱業政策の主な動き

- ・2008年鉱山・鉱業開発法(Mines and Minerals Development Act, 2008)が2008年4月3日に制定、2009年4月1日に施行された。主な変更点は以下のとおり

- ① 探鉱権の有効期間の明確化(探鉱面積により大規模または小規模に区分)

旧鉱業法(The Mine and Mineral Act 1995)では、探鉱権の有効期間は最大2年で更新可能であったが、新法では、大

規模探鉱ライセンスについては申請時が2年、その後は2回更新(2年毎)が可能で、さらに1年の延長を可能とし、最長7年とする。小規模探鉱ライセンスは、2年間の探鉱ライセンス一回きりの申請で、更新は認められない。

- ② 探鉱権及び採掘権の鉱区面積の制限(探鉱面積により大規模または小規模に区分)

旧鉱業法では、鉱区面積は無制限であったが、新法では、大規模探鉱ライセンスでは、1探鉱ライセンスにつき1,000km²が上限で、申請企業1社につき最大5,000km²となっている。また、更新時に面積の50%を減区する義務が課されている。また、大規模の採掘権(25年の操業許可、資源量によって異なる25年の更新可能)は、1ライセンスにつき250km²となる。一方、小規模の探鉱ライセンスに対する探鉱面積は最大10km²で、採掘権(10年の操業許可、更新許可の可能性は低い)は、最大4km²とされている。

- ・ロイヤルティの改正(0.6→3%)、法人税税率の改正(25→30%)、超過利得税(windfall tax)の導入(2008年4月)
- ・2008年から導入された割高な鉱業税について外資系銅生産企業が法廷闘争へ(2008年12月)
- ・2008年4月に導入された超過利得税を2009年4月1日より廃止へ(2009年2月)
- ・鉱業大臣、休止中の銅鉱山の一時国有化を否定し、35%の権益取得を検討中(2009年4月)
- ・ウラン採掘における鉱業規則を制定(2009年6月)

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 1. ザンビア：金属鉱石生産量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	515.6	550.3	595.0	8.12

(出典：WMSY 2009)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 2. ザンビア：金属地金生産量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	497.2	522.0	604.7	15.84
鉛	0.4	0.4	0.4	-
コバルト(t)	4,665	4,335	3,841	-11.40
セレン(t)	10	10	10	-

(出典：WMSY 2009)

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3. ザンビア：金属地金消費量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	21.0	21.6	21.6	-
鉛	0.9	0.9	0.9	-

(出典：WMSY 2009)

(4) 主要非鉄金属輸出量

表 4. ザンビア：精鉱中含量・地金輸出量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	主な輸出相手国
銅地金	476.1	490.9	585.1	19.19	スイス、イギリス、南ア

(出典：WMSY 2009)

(5) 主要非鉄金属輸入量

該当データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 5. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量 (千t)	備考
Chambishi 鉱山	Chambishi Metals Plc (100%) <内訳> Enya Holdings BV (85%) Zambia Consolidated Copper Mines Ltd (ZCCM) (15%)	銅	24.0	2007 年 ・2009 年 1 月より市況の悪化のためメンテナンス停止状態。
		コバルト	2.6	
Chibuluma South 鉱山	Metorex Ltd. (100%)	銅	14.6	2008 年 2012 年までに銅 24kt/年まで増産計画あり。
Kansanshi 鉱山	First Quantim Minerals Ltd (80%) ZCCM (20%)	銅	215.3	2008 年 2009 年 6 月、15%の精鉱輸出関税の撤廃をめぐり政府と交渉中、この間、輸出を一時停止。 2009 年 6 月 ZESCO(Zambia Electric Supply Corp.)の変電所が火事となり、11 時間生産が停止した。 2008 年 11 月、50 人を一時解雇。
		金(t)	1.7	
Bwana Mkubwa 銅 鉱山	First Quantum Minerals Ltd (100%)	銅	5.80	2008 年 2007 年の生産量は 25.4kt であったが、2008 年に Lonshi 鉱山(DRC)からの鉱石の輸入が禁止された。
Konkola 鉱山	Konkola Copper Mines plc (100%) <内訳> Vedanta Resources plc (79.4%) ZCCM (20.6%)	銅	76.0	2008 年 2009 年 2 月、3 月末までに 1,200 人の解雇を発表。 2008 年 5 月 Nchanga テーリングプラントの拡張を完了した。 2008 年 3 月、2005 年以降停止していた Nchanga オープンピットを再開し、コバルトの生産計画を発表。
Nchanga 鉱山		銅	-	2008 年 3 月、2005 年から閉鎖していた Nchanga open pit の生産を再開した。 2009 年 7 月 Nchanga 製錬所の技術的な問題により生産が停止し、2 週間操業停止し、銅 8kt-10kt の生産減となった。
Luanshya Division 鉱山	Luanshya Copper Mines Plc (100%) <内訳> China Nonferrous Metal Mining Corp (75%) ザンビア政府 (25%)	銅	23.8	1999 年 2008 年 12 月より操業が停止されていたが 2009 年 6 月に操業を再開した。
		コバルト	0.4	
Lumwana 鉱山	Equinox Minerals Ltd (100%)	銅	20.0	2008 年 2008 年 12 月銅精鉱の生産を開始した。 2009 年 5 月 Konkola 銅鉱山と 70kt-80kt/年(契約期間 5 年)の供給契約を締結した。
Mufulira 鉱山	Mopani Copper Mines (100%) <内訳> Glencore International AG (73.1%) First Quantum Minerals Ltd (16.9%) ZCCM (10%)	銅	80.5	2006 年 2009 年 3 月、Glencore は政府に対し Mufulira 鉱山の低品位化に伴う閉山計画を通知。 2009 年 2 月、3 月末までに Mopani 銅鉱山での 4,000 人の解雇を発表。 2008 年 1 月、同鉱山のリーチングプラントが環境基準をクリアしていないため不認可となったが、同月末に認可された。
		銅	54.4	
Nkana 鉱山		銅	54.4	2006 年 2009 年 2 月、3 月末までに Mopani 銅鉱山での 4,000 人の解雇を発表。 2008 年に予定されていた新 Nkana 立坑建設計画は、銅価の下落と財政状況の悪化のため保留となった。
Munali 鉱山	Albidon Ltd (100%)	ニッケル	-	2008 年 Q3 に生産を開始したものの、2009 年 3 月より市況の悪化のためメンテナンス停止状態。 2009 年 6 月 Albidon の株主は、ザンビアのプロジェクトの清算を回避するため、会社整理に同意した。

(出典：Metal Economics Internet Services)

表 6. 製錬・精製所生産状況

製錬・精製所名	権益所有企業(権益：%)	鉱種・形態	生産量 (千 t)	備 考
Mufulira 銅製錬所	Mopani Copper Mines (100%)	銅	140.0	2007 年
Mufulira 銅精錬所	<内訳> Glencore International AG (73.1%) First Quantum Minerals Ltd (16.9%) ZCCM (10%)	銅	170.0	2008 年
		銅(SxEw)	15.0	2008 年
		合計	185.0	2008 年
Nkana 銅製錬所	Konkola Copper Mines plc (100%)	銅	120.0	2007 年
Nkana 銅精錬所	<内訳> Vedanta Resources plc (79.4%) ZCCM (20.6%)	銅	95.0	2008 年
Nkana コバルト精錬所	Mopani Copper Mines (100%) <内訳> Glencore International AG (73.1%) First Quantum Minerals Ltd (16.9%) ZCCM (10%)	コバルト	1.25	2008 年
Chambishi コバルト 精錬所	Chambishi Metals Plc (100%) <内訳> Enya Holdings BV (85%) Zambia Cnsoildated	銅	25.0	2008 年
		コバルト	2.59	2008 年 2009 年 3 月、2009 年 5 月には DRC からの銅コバルト精鉱の 輸出再開により、操業再開予 定 2008 年 12 月に市況の価格低 下のため、操業を停止した。

(出典：Raw Material Data、Metal Economics Internet Services)

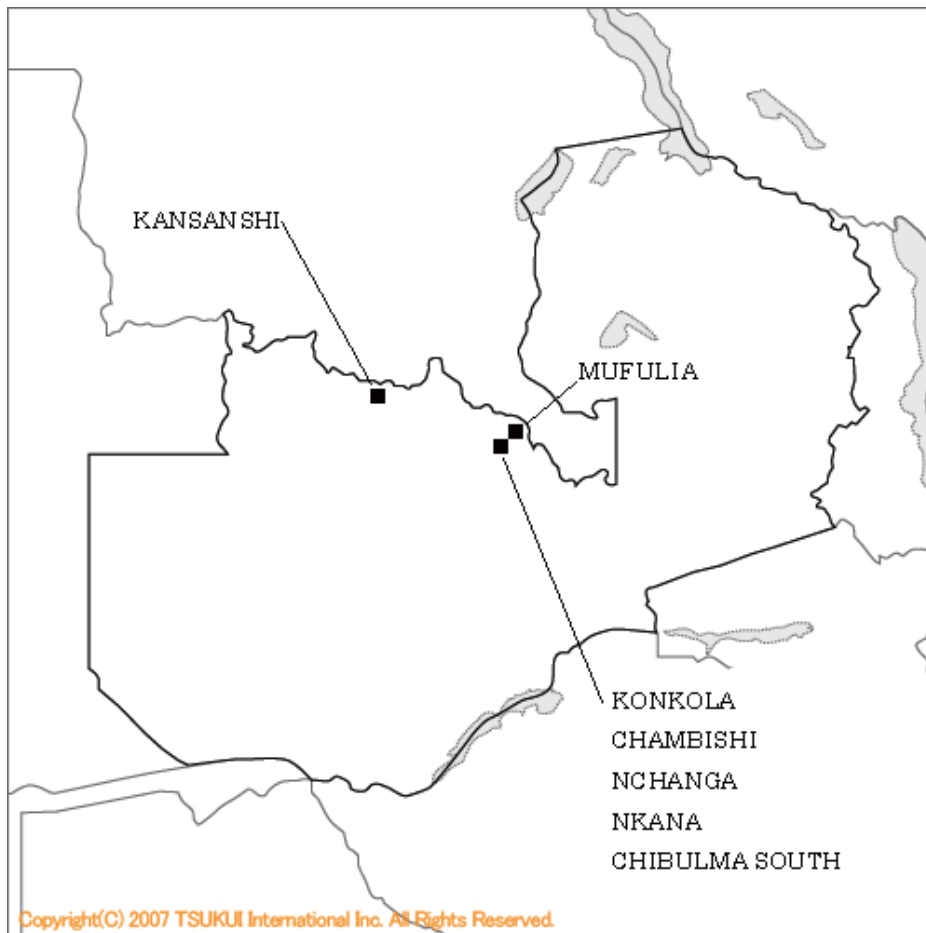


図 1. ザンビアの主要生産施設位置図

5. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 7. ザンビアの日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
コバルト地金(t)	1,165	988	847	-14.27
銅地金(千t)	-	-	1	-

(出典：日本貿易月表 2008.12)

(2) 日本企業による投資状況等

2009年7月 JOGMEC、ザンビア鉱山・鉱物開発省及び商業産業貿易省との三者による両国間の鉱物資源開発分野での関係強化を図る包括的な内容の覚書(MOU)を締結した。

6. その他トピックス

特になし

(2009.07.29/ロンドン事務所 竹谷 正彦)